

[6098/5F-190-002]

Ver.16

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F190 単純ヘルペスウイルス抗体 IgG [EIA]

単純ヘルペスウイルス抗体 IgG

[EIA]

herpes simplex virus, viral antibody IgG

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6098

001

単純ヘルペスIgG[EIA]

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

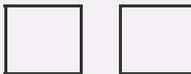
患者の検査前準備

検体採取のタイミング

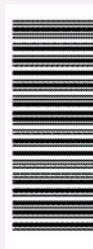
ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト

注 80 外



ウイルス



血液

中検外1

_-****-55032

*-**-***

C6

6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[6098/5F-190-002]

Ver.16

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F190 単純ヘルペスウイルス抗体 IgG [EIA]

単純ヘルペスウイルス抗体 IgG

[EIA]

herpes simplex virus, viral antibody IgG

連絡先 3764

検査所要日数	2～4日
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	酵素免疫測定法 (EIA)

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	EIA価	2.0 未満	2.0 未満	(単位なし)
00	判定	陰性(-)	陰性(-)	(定性・判定)

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

単純ヘルペスウイルス (HSV) は、DNAウイルスで、1型 (HSV-1) と2型 (HSV-2) の2型に分けられている。HSVの特徴は、初感染後体内に持続感染 (潜伏感染) することである。初感染の多くは不顕性感染で、顕性、不顕性を問わず初感染後は三叉神経節、仙骨神経節に潜伏感染し、疲労、妊娠、怪我、熱性疾患その他の原因によってウイルスが再活性化されると、口唇周辺や陰部など特定の皮膚部位に水疱を生じる (回帰性ヘルペス)。HSV感染症の診断法には、ウイルスやウイルス抗原を直接証明する抗原検査と血清抗体の上昇によって診断する抗体検査とがある。抗原検出法は、ウイルス分離をはじめ、病変部より得た細胞中のHSV抗原を蛍光抗体法 (FA) を用いて証明したり、モノクローナル抗体を用いたシェル・バイアル法がありこの方法は特異性が高い。また遺伝子検査としてin situハイブリダイゼーション、PCRなどによる方法があり、ヘルペス脳炎、新生児ヘルペス感染症などの早期治療により救命率を上げることが期待されている。抗HSV抗体の測定法として、EIA法は感度が高くまたIgG、IgM抗体の分別測定も可能である。中和法はEIA法に比べ感度的には落ちるが特異性は高い。また中枢神経疾患の場合EIA法のIgG捕捉法が有用である。血清学的検査は、主として初感染の診断や中枢神経感染の診断、感染HSVの型別推定に応用されている。

[6098/5F-190-002]

Ver.16

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F190 単純ヘルペスウイルス抗体 IgG [EIA]

単純ヘルペスウイルス抗体 IgG

[EIA]

herpes simplex virus, viral antibody IgG

連絡先 3764

異常値を示す病態・疾患

性器ヘルペス, 流産, 死産, 奇形, 脳炎, ヘルペス性角結膜炎, 脊髄炎, 新生児ヘルペス, 口唇ヘルペス, ヘルペス性食道炎, 神経炎, 肝炎

参考文献

山辺晴美ほか. EIA価によるヘルペスウイルス感染症の血清学的診断法に関する検討. 医学と薬学. 1991,

厚生省監修: 微生物検査必携ウイルス・クラミジア・リケッチア検査第3版第1分冊48～61 1987

エスアールエル 検査要項

JLAC10

分析物	5F190	単純ヘルペスウイルス
識別	1431	ウイルス抗体-IgG
材料	023	血清
測定法	000	

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM)(検査内容の変更点なし)
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([1mL]⇒[3mL])
5	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
6	2018/11/27	2018/11/27～	判定基準を追記(WEBのみ)
7	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
8	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
9	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更

[6098/5F-190-002]

Ver.16

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F190 単純ヘルペスウイルス抗体 IgG [EIA]

単純ヘルペスウイルス抗体 IgG

[EIA]

herpes simplex virus, viral antibody IgG

連絡先 3764

10	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
11	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
12	2022/03/11	2021/12/15～	結果表記変更（数値と判定とを分離）
13	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
14	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
15	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
16	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定